

## 第一問

### 問一

本文の主旨の前提となる部分が理解できているかを問う問題。都会の暮らしと自然との関係を説明する箇所について、「眠りを覚まされる」という比喩表現の示す内容を具体的に説明する。

### 問二

都会から地方へ移住した小説の主人公の変化について、比喩的な表現を的確に解釈できているかを問う問題。「都市に閉ざされ」る、「（感覚が）環境に開かれ」る、「物たち」が「別の姿を現す」というやや難解な表現を、自分の言葉でわかりやすく説明することが求められる。

### 問三

前問に関連して、主人公の変化が、意識ではなく身体面からの気づきであったことについて考える問題。傍線部を含む段落内の記述もふまえて、「頭に偏った暮らし」「体からの反逆」それぞれを解釈し、自分の言葉でわかりやすく説明することが求められる。

### 問四

地元の間人である室生犀星と、移住者である古井由吉とを比較し、小説に表現する方言の違いについて、本文の内容を理解できているかを問う問題。

(ア) 違いの説明のみ。傍線部を含む段落の前段落からの内容をふまえて、簡潔に説明する。

(イ) (ア)と同様に前段落からの内容をふまえて、違いを生んだ原因を読み取り、「翻訳」などの言葉も、わかりやすく解釈して説明することが求められる。

### 問五

本文全体をふまえたまとめの問題。小説の主人公が経験した、自意識と身体の問題、それと対応する、都市生活と地方の自然や人とのかわりの問題について、わかりやすく説明する。

## 第二問

問一 (解答例)

- Ⓐ 触 (り)      Ⓑ 払拭      Ⓒ 際立 (たせる)

問二 (解答例)

価値 (観)、 選好

問三 (解答例)

与えられた

※問三の解答例は一例であり、これ以外にも正解にすることがある。

問四

自由の定義のうちの一つ目「外的要因」を正確に理解できているかどうかということを、「結婚」という身近な例によって考える問題。法律に関する常識的な範囲で解答すれば良い。

問五

傍線部③以降の本文前半部分の要点を把握し、適切に要約できるかどうかを問う問題。

問六

「一義的に規定しているわけではない」と否定していることを、肯定の形で言い換えるかどうか、論述の具体的な内容に即して考える問題。

問七

本文後半部分で鍵となる「私の人格」の形成のありようについて、本文に説明されていることを的確に捉え、過不足なく表現できるかどうかを問う問題。

### 第三問（A）

#### 問一

基本的な語彙の知識を問う設問。「おとなし」「やむことなし」など、古文に頻出する語句が理解できているかを確認している。

#### 問二

傍線部を現代語訳させることによって、文脈を正しく読み取って、言葉の意味を正確に把握できているかを問う。

#### 問三

傍線部に言う「企て」の具体的内容を説明させることによって、直前の括弧内（「入道殿」の心の内の言葉）が正しく理解できているかを問うている。

#### 問四

前後の内容を正確に読み取り、「幼くおはします君」とは誰か、「求めてまるれ」とは誰のどのような命令なのかを把握し、わかりやすく説明することを求めている。

#### 問五

主語や指示語を補って傍線部を現代語訳させることで、文脈の理解と、語句解釈の正確さを試している。

#### 問六

（ア）傍線部の指示する内容（過去の出来事の概要）を説明させることによって、第二段落に記されている深草の帝と昭宣公に関するエピソードを正しく読み取ることができているかを確認している。

（イ）極楽寺（解答例）

#### 問七

三箇所共通する「さるべき」の意味を問うことによって、文脈や古典文法の理解、及び古文常識の有無などを試す設問。

### 第三問 (B)

#### 問一

傍線部の現代語訳。「遣」を用いた使役形の語法の知識を問うている。

#### 問二

傍線部に続く内容が正しく理解できているかを試す設問。

#### 問三 (解答例)

若し職に称はざれば、臣其の罪を受けんと

※部分的に異なるところがある解答も正解とする場合がある。

#### 問四

傍線部の理由を説明させることによって、傍線部と、傍線部の前までの部分が正しく理解できているかを試す設問。

#### 問五

傍線部の理由を、本文全体の内容を踏まえて推察させることによって、この文章全体の内容を正しく読み取ることができているかどうかを試す設問。